

幼児期の出血を伴う全身症状と喘息を経て通院を終了した小児アトピーの経過 (7歳 女児)

症例 ID：001-07-OY | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

1歳頃から腕や足を血が出るほど掻き、ステロイド外用で一時軽減しては再燃する状態が続きました。咳も出るようになり、入院治療後も再燃しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	近医と入院先でステロイド外用薬を使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼児期に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1歳頃	発症	腕や足を血が出るほど掻くようになりました。
その後	外用治療	ステロイド外用で一時軽減しては再燃しました。
幼児期	喘息併発	咳と喘息症状が出ました。
入院治療	一時軽減	3週間の入院で一時的に皮膚が整いました。
退院後	再燃	再び強いかゆみと出血が続きました。
松本医院受診後	治療開始	煎じ薬と薬草入浴を続けました。
経過後	通院終了	喘息とアトピー症状がみられなくなり、来院しなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、夜間に掻き続けて朝にはシーツが血で汚れ、喘息も伴っていた時期です。

5. 困りごと

- 夜間の強いかゆみと出血で、家族の睡眠と生活に負担がありました。
- 喘息と皮膚症状を併せて治療する必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療後、喘息とアトピー症状がみられなくなりました。
症状のための通院が不要となり、来院しなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。